

議会報告「しきさい」

出水市議会議員 田中秀一

2023年12月号



燃ゆる感動かごしま国体・大会が終わり、関係者の皆さんはホッとされていることと思います。市内に住んでいると分かりませんが、他の地域も回られた方によると県内でも出水はかなり盛り上がっていると感じたそうです。新型コロナウイルス感染症も生活への影響はだいぶ軽減され、様々な行事や会議、交流会等も以前の状況に戻りつつあります。この時期、出水で最も懸念されるのは高病原性鳥インフルエンザですが、残念なことに1例目が発生してしまいました。関係者の皆さんも対策の強化に大変な努力



力をされてきたと思います。2例目以降がないことを祈るばかりです。

(一般質問の詳細「政治課題」や「つぶやき」はHPでご確認ください。右QRコード)

令和5年 第2回定例会

6月定例会を6月5日から6月29日までの25日間の会期で開催しました。補正予算や条例、指定管理者など12件の議案が全て可決され、3件が承認、2件の同意がありました。

・一般会計補正予算では、電気・ガス・食料品等の価格高騰による低所得世帯の負担を軽減するため、住民税均等割非課税世帯等に対し1世帯3万円を支給。また、物価高騰の影響を考慮し本市独自の支援策として、児童1人当たり1万円を支給。つるのしんクーポン発行事業で市公式LINE登録者に1,500円以上の利用で500円の割引。

・新たな出水市教育委員会委員として、宮本進之介氏を同意しました。

・出水市屋根付き市民ふれあい広場の設置及び管理に関する条例、出水市再生可能エネルギーの利活用の推進に関する条例が可決されました。

・継続審議となっていた、「川内原発の20年延長運転期間に関する陳情書」(20年延長しないことを求める)は賛成小数で不採択とされました。

一般質問 2023年6月16日(金) 田中秀一 質問順位6番(2日目 2番)

1 屋根付き市民ふれあい広場の運営について

(1) 平面計画と日常利用について ア 更衣場所及び施設管理人常駐の有無について
イ 屋根下に遊具や休憩ベンチ及び手洗い水飲み場はあるか ウ 熱中症対策のミストシャワーの利用方法
エ 個人や小規模団体での利用手続きは必要か オ 夜間の利用は可能か、また常設の照明でどの程度の利用ができるか

(2) 非日常の利用計画について ア 現在利用が計画されている具体的なイベント等は何があるか
イ 生涯学習拠点としての活用方法について ウ 一般企業や市民団体が利用する場合の条件や手続き及び利用時間
エ マンホールトイレは常設するか オ 常設の音響設備でどの程度のイベントが可能か、また雨天時の騒音は

(3) 災害時の活用について ア 避難道路改修と浸水深さに応じた堤防の築造の計画はないか
イ どのような災害を想定した活用を計画しているか ウ 人の一時避難所としての活用の有無と収容人数
エ 暴風時の支援物資や人への豪雨対策は オ 停電時の対応や防災備蓄倉庫の備蓄品の内容について

2 公園等でのペット同伴利用について

(1) 出水市の所有する公園等でペット同伴可能な場所の数と施設名

- (2) 同伴できない場所のペット不可としている理由は
- (3) 出水市で管理する道路での犬の散歩等の可否と条件について
- (4) 出水市で登録されている犬の頭数

○椎木伸一市長答弁

広場内にはテニス場にある更衣室と更衣室として活用できる防災あずまやがあり、新たには設置していません。施設管理人の常駐も考えていないところです。同広場は広々と利用していただくため、遊具・ベンチ等はありませんが、トイレや水飲み場は隣接しています。ミストシャワーはタイマー運転ですが、利用状況等を勘案しながら運用をしていきたい。個人や小規模団体は、占用利用者がいなければ手続なしで利用することができ、夜間についても同様の取扱い。また、占用利用者がいない夜間の照明は、ウォーキングなどの軽運動に必要な明るさは確保しています。非日常の利用計画については、国体のおもてなし広場として活用されることを皮切りに、大産業祭や音楽フェス等での利用を想定しているほか、学校や保育園等の運動会や遠足での利用も想定しています。生涯学習拠点としての活用方法は、子供の遊びから子育て、スポーツなどによる多様な世代の健康づくりなど、様々に活用されることを想定しています。占用使用時間は、午前8時30分から午後10時までとし、占用部分は、全部使用とフットサルコート部分等を占用して使用する一部使用とに区別しております。利用形態は、イベントに使用する場合とスポーツ等で使用するその他の場合とに区分しており、それぞれ使用料の設定をしています。使用許可の申請を行い、許可を受けて使用することになります。マンホールトイレについては、災害時のみに使用します。音響設置については、同広場内の放送や音楽を流すなどの一般的なイベント利用は可能ですが、音楽フェス等では、主催者が別途、音響設備を準備する必要があります。雨天時の天幕への雨音がイベントに影響するかについては、そのような事例は聞いていないとのこと。災害時の活用について、屋根付き広場前の道路の拡幅改修は、現況の平均幅員が5メートル以上確保できており、車両の通行に支障がないと考えますが、イベント及び災害時の通行車両の利用状況を勘案しながら、必要に応じて検討していきます。また、堤防のかさ上げについても、県に確認したが、現時点での計画はないそうです。なお、同広場は、浸水しない高さに盛土されています。災害時の活用計画については、災害発生時に地域防災拠点として、支援物資の中継基地やボランティア活動の場として活用できるよう計画されており、地震や津波等の大規模災害時に活用されることが想定されます。また、原発事故発生時の一時避難場所として活用されることも想定され、収容人数については、通常の避難時では1人当たりの必要面積を3平方メートルと計算し、約460人。感染症を配慮した避難時では、1人当たりの必要面積を9平方メートルと計算し、約150人となっています。災害発生後の防災拠点としていることから、暴風時での使用は想定していません。停電時の対応については、非常用発電設備が配備してあります。また、広場敷地内には非常用電源装置が附属されているソーラー照明も2基設置予定です。防災備蓄倉庫の備蓄品の内容については、新型コロナウイルス感染症対応備品及び消耗品、マンホールトイレ及びテントセットなどの災害対応備品及び消耗品です。次に、公園でのペット同伴利用についてであります。市が管理する都市公園や農村公園など88公園等のうち、犬にリードを付け、ふん尿の始末などマナーを守りながら散歩を認めている公園等は76か所ございます。また、看板で犬の散歩等を禁止している公園等は、クレインパークなど12か所ございます。犬の散歩等を禁止している理由は、マナーの問題や犬を怖がる利用者との関係などです。市で管理する道路での犬の散歩等についての制限や条件等はありませんが、公園と同様にマナーを守っていただきたいと考えております。出水市で登録されている犬の頭数は、令和5年4月1日現在で2,324頭です。

ひとこと 屋根付き市民ふれあい広場の愛称が「ウイングドームいずみ」に決定しました。応募いただいた 129 作品の中から市で選定した 5 作品を対象に、市民投票を行った結果です。

また、これまで禁止されていた・クレインパークいずみ・出水運動公園・高尾野西部運動公園・高野山公園のペット入園試行が 9 月 1 日より実施されています。入園に当たっては、試行条件を御確認いただき、マナーを守りながら公園利用に御協力ください。

議案第 40 号 出水市再生可能エネルギーの利活用の推進に関する条例の制定について 賛成の立場で討論（総務病院委員会）2023 年 6 月 21 日（水） 田中秀一

昨今の世界各地で起こる異常気象による災害を見ますと、脱炭素社会の実現は喫緊の最も大切な課題となっています。その実現に向けた再生可能エネルギーの利活用の推進は、出水市においても率先して取り組まなければならない施策のひとつです。また、地域の発展や文化的な生活を持続的に実施していくためにもエネルギーの確保は重要で、今回提案された条例は、再生可能エネルギーの利活用の推進の基本となるものです。従いまして、この条例の制定について賛成いたします。

令和 5 年 第 3 回定例会

9 月定例会を、8 月 28 日から 9 月 22 日まで 26 日間の会期で開催しました。補正予算他 10 件の議案が可決され、国体の関係で認定 9 件及び議案 2 件が会期外の継続審査となりました。一般会計補正予算では、豚熱対策事業、農作物等災害支援事業や稼げる観光地づくり事業、小学校施設整備事業など 11 億 135 万 1 千円を追加しました。

一般質問 2023 年 9 月 7 日（木） 田中秀一 質問順位 3 番（1 日目 3 番）

1 特産館いずみの道の駅登録について

- (1) 特産館いずみの開館に合わせ、道の駅登録をしなかった理由
- (2) 開館後数年のち、運営状況を考慮したうえでの道の駅登録の検討の有無
- (3) 施設の各増改築に関する出水市とアグリ出水の建設費の負担割合、及び各施設の現在の所有者
- (4) 特産館いずみの道の駅としての要件が整いつつある現在、今後の南九州西回り自動車道の全線開通に向け、改めて道の駅として登録する考えはないか

2 旧市道矢房 5 号線について

- (1) 廃止に伴う現在の状況
- (2) 払下げに関する契約内容
- (3) 払下げに関する今後の予定

○椎木伸一市長答弁

平成 18 年 2 月 4 日に開館し、有限会社アグリ出水が運営しており、旧出水市の認定農家等で組織される出荷協議会により出荷されています。本施設は、道の駅としてではなく、生産者の所得向上及び地域の活性化を目的として整備したものです。道の駅登録に向けた検討については、有限会社アグリ出水から平成 29 年 2 月に道の駅登録に関する要望書が提出されまして、検討した経緯はありますが、同年 8 月に屋外トイレや防犯設備を設けない現状での登録は大きな危険性を伴うという理由で要望を取り下げられています。施設の各増改築に関する建設費の負担割合と現在の所有者についてであります。本館の増築部分については、有限会社アグリ出水が費用を負担し、市に寄附されており、本館全体が市の所有となっております。休憩所及び倉庫につきましては、有限会社アグリ出水が費用を負担され、同社の所有となっております。屋外トイレは、建屋部分の建設費の約 4 分の 1 を有限会社アグリ出水が、残りを

市が負担し、市の所有です。今後の道の駅登録に向けては、特産館いずみの施設は、大部分を市が所有しておりますが、運営・経営につきましても、開館以来、有限会社アグリ出水が主体的に実施され、努力と創意工夫の結果、平成8年開館以来、年々業績も伸ばされ、コロナ禍にあっても安定した経営をされていて、特定の利用者があると考えています。道の駅として登録するには駐車場やトイレを24時間開放しなければならないなどの要件もあり、施設の防犯面や人員体制、経営等に及ぼす影響など考慮しながら検討しなければなりません。このことから、直接経営内容に関与していない本市が率先して道の駅の登録を検討することはありません。次に、旧市道矢房5号線ですが、令和4年第3回定例会において路線の廃止について議決していただいた後、市道の供用廃止に関する告示など必要な手続を行い、現在、路線に埋設されている下水道管の用途廃止に係る手続を進めているところです。払下げに関する契約内容については、払下げに向けた諸手続を進めているところで、手続完了後に契約手続を行うこととなります。諸手続等が完了し次第、払下げに関する手続を行う予定としています。

ひとこと 現在、有限会社アグリ出水では特産館いずみの道の駅登録に向けて準備を進めているところです。出水市に多くの観光客を呼び地域活性化を促すためには、前回ご紹介した自動車道の道の駅と利用目的や利用者層が異なる一般国道の道の駅が連携し観光の拠点づくりを進めるべきだと考えます。また、国道328号紫尾峠付近にトンネル整備の要望活動を進める計画があります。出水市とさつま町との境にある紫尾峠はカーブ区間が長く交通事故等が多発していることや、積雪時に通行ができない問題等があります。

総務病院委員会行政視察 所見

1. 福岡県みやま市「エネルギーの地産地消の取組について」

市外の大手企業に頼らない、市有地を生かしたメガソーラー施設と発電事業会社の設立やバイオマス産業都市認定とバイオマス施設の設置。またこれらのエネルギーを有効に活用するために国のHEMS活用事業に参画し、自治体による低圧電力売買事業会社を設立するなど、エネルギーの地産地消に向けた計画や行動は大変参考になった。

2. 福岡県嘉麻市「ハイブリッド型デマンド運行バスについて」

民間路線バスと、幹線路線や定時定路線型とデマンド型による枝線路線を組み合わせた運行により、利便性が向上し収支率もアップしている。利用者が減少し多額の経費が必要な地域のバス運行に関し、よく考えられたシステムだった。出水ふれあいバスに関しても、デマンドバスと組み合わせ便利で無駄の少ない運行を検討する必要がある。

3. 福岡県直方市「女性消防吏員の取組について」

女性採用に関し高校や専門学校等への積極的な働きかけや、女性増への目標を持った取り組みが見られた。男女の体力差別的な観点から、安全に関し考慮されている部分はあったが、採用試験や消防吏員としての活動に関しても、全て男女平等の扱いになっていた。男性と同じ難しい試験に合格した、やる気のある女性消防吏員の話が印象に残った。

4. 熊本県玉名市「3D都市モデルを活用した防災対策について」

2020年にスタートした国のプロジェクトの情報を逃さず、直ぐに応募され整備された事は見習う点大きい。今回はこのPLATEAU（プラトー）を活用し、避難誘導の高度化や防災意識の向上など防災対策に活用されていたが、さらに幅広い分野で利用できるということだった。新しい取り組みを最初に事業化することは、行政としては難しい部分もあるがメリットも大きいと感じた。